

## 校長だより(令和4年2月)

群馬県立藤岡特別支援学校長 須川 史子

早いもので、年が明けてひと月が経過しました。前号で新型コロナウイルス感染症第6波の様相が顕著になりつつあると書きましたが、本県も1月21日にはまん延防止等重点措置の対象地域となり、連日、1日の最多感染者数を更新する日が続いています。



オミクロン株の脅威を見せつけられる中、本校でも先日、罹患者が確認されました。関係機関等との協議を踏まえ校内の消毒等を行うとともに、感染拡大を防止し児童生徒の安全を確保する観点から関係者は自宅待機とし、該当する学年は学年閉鎖としました。現在、個別の連絡をしていない児童生徒には通常登校を継続していますが、今後も児童生徒の安全を第一に、関係機関等と連携しながら感染防止対策に努めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

保護者の皆様におかれましては、引き続き、ご家族の健康観察に努めていただくとともに、体調の変化等が見られた場合は医療機関を受診するとともに、必ず学校への連絡をお願いいたします。なお、罹患者への差別や偏見につながるような言動は控えるようお子さんにご指導いただくと共に、保護者の皆様におかれましてもご協力をお願いいたします。

また、ご不明な点やご質問等がありましたら、学校までご連絡いただくようお願いいたします。

### ◇JRC登録式

1月13日(金)、今年度より高等部生徒全員が加盟することとなった青少年赤十字の登録式が高等部交流ホールにて開催されました。群馬県青少年赤十字賛助奉仕団指導講師：河田敏江様に来校いただき、加入にあたってのご講演をいただきました。赤十字設立の歴史や青少年赤十字活動の目的、大切にしている考え方等、元中学校校長先生ならではの切り口で、非常にわかりやすいお話でした。河田先生立ち会いのもと、生徒を代表して2年：磯部愁太さん、栗原琴音さんが宣誓書にサインし、制服の襟にバッジをつけていただきました。これから、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標に近づけるよう生徒会を中心に様々な活動を行っていきますが、一人一人が主体的に「気づき」、「考え」、「実行する」という態度が養われていくことを期待しています。

### ◇校外学習を工夫して

小学部では1月中、学年グループごとに公共交通機関やマイクロバスを利用して出かけ、新幹線のホームを見学したり、ボウリングを楽しんだり、あるいはファミリーパークで遊んだり、子どもたちが楽しみにしていた校外学習が計画されていました。しかしながら、コロナの感染拡大を受け、内容や場所の変更、縮小をして実施しました。

3組はダイソーで大好きなお菓子を購入し買い物を楽しみました。また、3・4年生は、藤岡総合学習センターでお借りした本物さながらのボウリングセットを利用して多目的ルームで楽しみました。5・6年生は校内オリエンテーリングで探検気分を味わいました。また、本来であれば外出先で昼食をとる予定であったグループでは、お店で昼食をテイクアウトし学校で楽しみました。1・2年生は今後計画していく予定です。

コロナ禍で校外での活動が思うように実施できませんが、子どもたちはコロナに負けず元気いっぱい活動し、楽しむ姿を見せてくれています。

### ◇ALTによる英語授業

1月14日(金)、県より派遣されたALTのマーク先生が各学部ごとに特別授業を実施してくださいました。小学部ではフルーツバスケットや動物の鳴き声をテーマにした絵本の読み聞かせを楽しみました。また、中学部では一人一人とマーク先生が話をする機会があり、自分の好きな食べ物について紹介をする場面などが見られ、中にはカードを用意して会話する生徒もいました。高等部では、生徒の「Stand up」の号令で始まり、マーク先生との会話や英単語かるたなど英語に親しみ、楽しいひとときを過ごしました。

JRC登録式(高等部)



ボウリング(小学部・黄)



ALTによる英語授業(中学部)

